

Cグループ [1/2]

場所を特定できる意見

■八の釜憩いの森

環境

- ・外環計画は受け入れざるを得ないが、八の釜は大切なものであり、湧水を枯らさないための最善の努力や工夫をしながらの工事を期待する。
- ・開削部分で、蓋掛け出来る部分は、八の釜樹林の代替としてできる限り植樹してほしい。

- ・八の釜の湧水がなくなるのであれば、それに代わる水源を設け、何箇所か池をつくり歩道をつくるなど、子供達が楽しめる場づくりに期待している。昔いた蜚の復活など観光名所となることも期待する。
- ・比丘尼公園や白子川調整池に八の釜の代替地として緑を増やすことを希望する。

工事中

- ・八の釜周辺で、工事の際地下水を止める事による土地の隆起や地盤沈下が懸念される。

■東大泉2丁目

環境

- ・現在事業所も、住居も東大泉2丁目にあり、既に交通が混雑している上に外環ができることさらに交通が増え、大気への影響がひどくなるのではないかと心配である。

■東大泉3丁目道路

安全

- ・現在でも朝、夕の出勤の車が多い。本計画により、交通が増え、事故が増えるのではないかと心配。

工事中

- ・工事車両から児童を守るための交通安全の配慮を望む。

■白子川・東大泉アパート

工事中

- ・白子川の工事と東大泉3丁目の『都営東大泉アパート』の建替え工事に、外環の工事が重なることで、工事中の交通量や騒音が更に増加するのではと心配。

■白子川

環境

- ・白子川には鮎がいる。きれいな川の水をできる限り残してほしい。

■びくに公園等

環境

- ・比丘尼公園や白子川調整池に技術的に植樹が可能か知りたい。

■目白通りインターチェンジ周辺

交通

- ・目白通りインターチェンジの近くで交通量が増加し、渋滞が激しくなることが心配。
- ・目白通りインターチェンジにより、周辺の交通量が減るのか疑問である。

■大泉ジャンクション

交通

- ・現在不便なので、関越から目白通りへの降り口を大泉インター付近に設けてほしい。

環境

- ・ジャンクションに緑を増やすよう最大限考慮して欲しい。
- ・地域に似合わない構造物が出現する事による景観の悪化が懸念される。景観と調和するようにして欲しい。

■大泉町5丁目

環境

- ・大泉4丁目では、現在関越の排気ガスの影響で、洗濯物が黒くなる状況が発生している。今後も排気ガスの影響で洗濯物が黒くなるのが懸念される。

■既供用区間の緑地帯

環境

- ・大泉北中学校の北側の関越と外環に挟まれた部分は、立ち退き後に、大きな樹木を保存し残している。今回もそのような配慮をして欲しい。

■既供用区間側道(もみじ山付近)

交通

- ・もみじ山付近で側道が迂回している部分について、一部対面交通になっている部分もあり、不便を感じているので、外環に添う形で側道をつなげて欲しい。

■弁天池

環境

- ・大泉橋戸公園南側に現在は埋められているが、湧水があった。現在でも掘り返せば湧水が期待できると考えており、小学校の授業で行う稲作のための水に利用することも検討されている。



■土支田通り(大泉街道と三原台中学校間)

工事中

- ・工事中に土支田通りが通行できなくなったり通行が制限されるのではないかと心配。土支田通りへの影響について不明であることに不安がある。
- ・工事中の周辺の交通の便について、きちんとした生活道路対策を期待している。

■計画地内の道路

交通

- ・開削部分の計画地で蓋がけできる部分に存在する道路は、現状の道路の確保を希望する。

■緩衝施設帯

まちづくり

- ・地上利用部分の面積が広がると考えられるため、極力地上利用部分を増やしてほしい。

■開削部分

まちづくり

- ・開削部分の地上部分で蓋がけできる部分は、商店街にしてはどうか。

■首都高速10号線

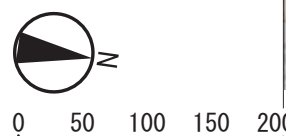
交通

- ・都心に向かう交通の利便性を高めるほうが優先度が高いと考えられるため、高速10号線を優先的に造ってほしい。

■換気所

環境

- ・換気所周辺住民に健康被害が生じないか不安である。
- ・換気所と清掃工場の煙突の間になる家では大気への影響を心配している。
- ・換気所の性能や故障時の対応、自然環境への影響について不安がある。
- ・換気所でのフィルター故障した場合の周辺への影響や、処置方法を知りたい。
- ・換気所の性能が不明なことが不安である。他の排気所などの事例とデータが欲しい。
- ・中央環状線に比べ外環は換気所が少ない。コスト的な理由だと考えるが、コストをかければ変更できると考える。
- ・大泉の換気所の延べ排気物質の多さが不安である。
- ・喘息、肺がん、アレルギーなどの健康被害を少なくするために、煙突の高さを高くしてほしい。
- ・PM2.5を取り除く方法を検討してほしい。住民の健康を守って欲しい。



■凡例

	特定のポイント		公園・緑地		地表面の路面(外環)
	ジャンクション地上部ゾーン		生産緑地		地表面のその他の施設
	ジャンクション地下部ゾーン		主な公共施設等		換気所
			主な道路		シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が4mより深い箇所)
			都市計画道路		シールドトンネル部(全ての構造が4m以内になる箇所)
			河川		トンネル分合流部(深さ区分については注書き参照)
			調整池		外環の地上部の計画範囲
			主な湧水		外環の地下部の計画範囲(地上部も内側となる範囲を除く)
			文化財・史跡		地表面の路面(外環以外)
					現在の都市計画
					進行方向

Cグループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・外環により地域が分断されることにより、迂回する車による側道や周辺の細い道路の交通量の増大が懸念される。
- ・今回の計画では、交通の利便性と安全性を踏まえた綿密な側道の検討を望む。

環境

- ・外環による大気への影響を心配している。対策について、よりよい方向に解決し進んでいく事を期待する。
- ・近くに練馬清掃工場もあり、環境への負荷を少なくするため分散して排気できないか。
- ・地域の住民や子ども達の健康被害状況を調べたデータがあるのであれば教えてほしい。
- ・渋滞を想定した換気方式の中央環状線とはことなり、外環の換気計画は、一般のトンネルと同じ「縦流換気方式」で計画しているが、もし渋滞を予想していないようであれば渋滞した場合の排気ガスの処理方法を検討してほしい。
- ・環境評価書に記載されている排気ガスの排出量を、きちんと処理できる計画になっているのか不安。
- ・環8井荻トンネルの換気所でフィルターが詰まったことがあると聞いている。今回計画している換気所でのフィルターの処理能力が不安である。
- ・開通すれば、騒音が心配である。
- ・騒音については、車社会では避けられない問題と思うので時間をかけて話し合いたい。
- ・現在の防音アクリルは、威圧感がなく、防音効果も感じられるので満足している。
- ・防音壁の色調や素材、形状の工夫を望む。樹木で覆ったり、壁面緑化などの方法を期待する。
- ・換気所、ランプ等の構造物による景観が、周囲の景観と調和することを望む。
- ・夜の街路灯の明かりによる周辺環境への影響が懸念されるので、夜間の明るさにおける周辺環境への配慮を望む。
- ・排気ガスについて発表されている数値の信頼性に不安がある。
- ・開削部分による地域の分断の解決や、騒音、排気ガスなどの問題解決の方法として、地下に外環を通す方法もあるのではないか。
- ・清掃工場の排気ガスの予測も加味した大気影響予想をお願いしたい。

まちづくり

- ・開削部分による地域の分断の解決や、騒音、排気ガスなどの問題解決の方法として、地下に外環を通す方法もあるのではないか。

安全

- ・防音壁付近等における植栽が、暗がりを生み、防犯上悪影響があるのではと懸念される。

工事中

- ・側道が通れないところがあり、工事での渋滞が心配。
- ・工事中の交通量の増加による、大気への影響が心配。
- ・工事車両による、排気ガス、粉塵、騒音が懸念される。
- ・工事中、トンネル内の残土搬出について、粉塵や排気ガスが懸念されるため、大泉地域から集中させて搬出するのではなく、公平に他の地域に分散させて搬出してほしい。
- ・工事期間中の大量の建設車両による大泉ジャンクション周辺の騒音や土砂の運搬に伴うホコリが心配。十分な対策を期待する。
- ・以前外環工事の際、遺跡発掘のホコリがとても気になったため、今回ホコリに対して対策をお願いしたい。
- ・以前外環工事の際、遺跡発掘のため工事期間が長引いたことがあり、長期間ホコリに悩まされるのではないか懸念される。
- ・工事中に交通量が増加して、現在抜け道になっているところでの子供の安全が懸念される。

移転補償

- ・生活設計の見通しを立てたいので、着工時期などのスケジュールを教えてください。

計画検討の進め方

- ・交通量の調査は最新のデータを使用して欲しい。
- ・自然環境は将来に対して最も重要な問題なので、今後の話し合いに期待している。

Dグループ [1/2] 場所を特定できる意見

- 大深度区間の境界 ■大泉街道以南 ■地上部合流付近 ■三原台3丁目の計画線境界 ■土支田通り
- 開削部分 ■八の釜憩いの森
- 大泉学園1丁目と大泉町5丁目の境界付近の道路 ■大泉町5丁目
- 新座料金所以东

移転補償

- ・家の1/3が開削部にあたるが、高齢になってからの引越は大変であり不安に感じている。

移転補償

- ・大泉街道の南側も移転になるのか。最高の技術を活用して、移転区をできるだけ小さくしてほしい。

交通

- ・目白通りの渋滞を緩和するために、地上部の街路の整備により大泉街道に車が流れるようにしてほしい。

移転補償

- ・計画線に面して商売している。外環の整備により商圏が変わり、商売に影響がある場合には補償の対象になるのか心配している。商圏消失による移転補償とそれまでの売り上げを補償して欲しい。

まちづくり

- ・土支田通りは地域の生活道路として重要であるが一方通行となっている。側道を外環の両サイドにつけて、土支田通りの生活道路としての機能を充実させてほしい。

まちづくり

- ・開削部は出来る限り蓋をすることで、地域が望む生活道路や緑地を整備してほしい。外環の整備に合わせて地域が良くなることを期待している。

環境

- ・地域にとって大切な八の釜の森をできるだけ避けて、貴重な資源を残してほしい。
- ・比丘尼公園に八の釜の森の代替えを作してほしい。
- ・八の釜の部分を高架にして、できるだけ残してほしい。
- ・八の釜の部分を高架にすると、立ち退く人が増えるなどの影響がでることが懸念される。

工事中

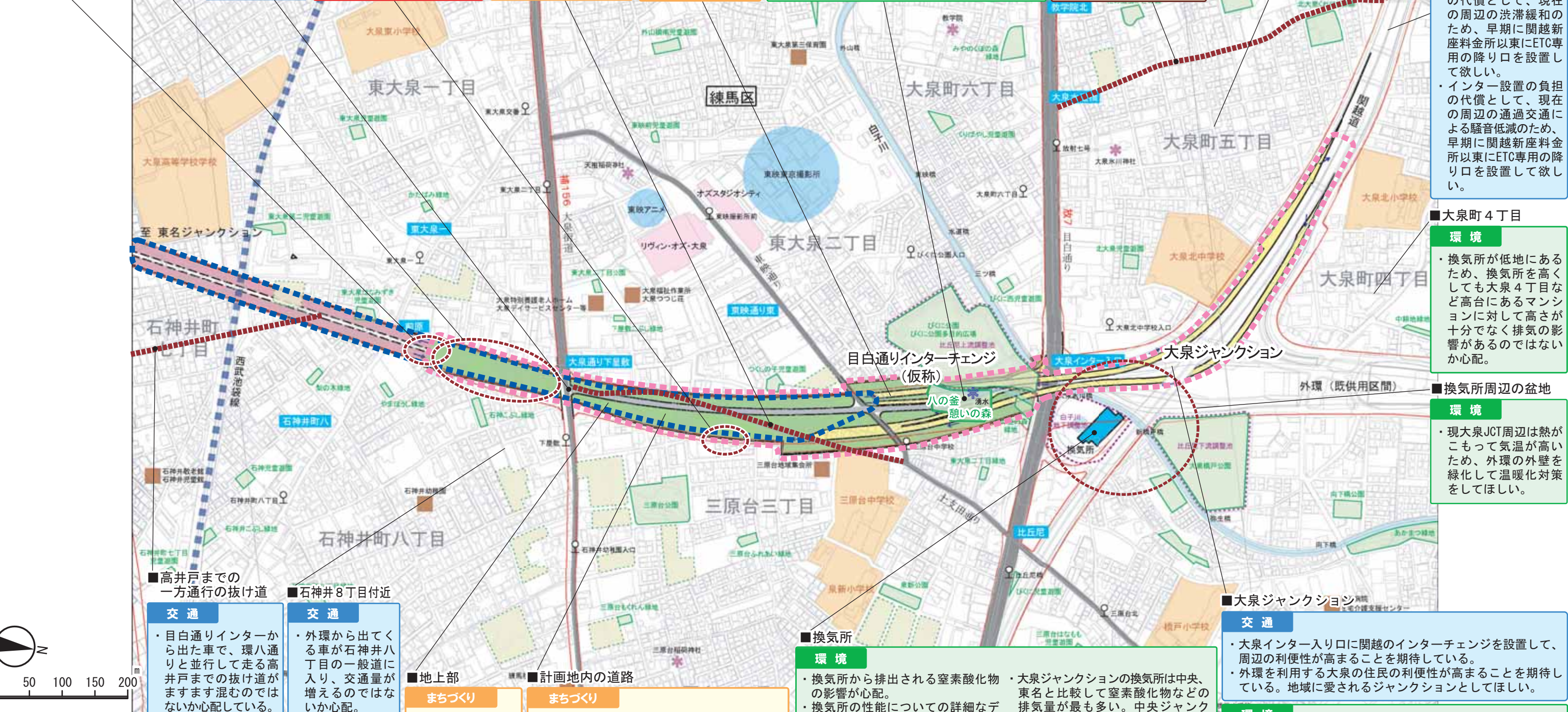
- ・大泉学園一丁目と大泉五丁目の境界の南北の道路は現在通過交通が多く、工事車両が通ることになると小学校や幼稚園への通学通園の安全が確保されるのか心配。

交通

- ・関越道側道の通行止めが解除されたら、大泉5丁目の住宅地内の通過交通車両が増えたという状況の中、大泉ジャンクションができたから、通過交通車両がさらに増えるのではないかと不安である。

交通

- ・関越新座料金所以东にインターチェンジを設置して、外環のインターチェンジに乗るために増加する交通量分を減らしてほしい。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の渋滞緩和のため、早期に関越新座料金所以东にETC専用の降り口を設置してほしい。
- ・インター設置の負担の代償として、現在の周辺の通過交通による騒音低減のため、早期に関越新座料金所以东にETC専用の降り口を設置してほしい。



高井戸までの一方通行の抜け道

交通

- ・目白通りインターから出た車で、環八通りと並行して走る高井戸までの抜け道がますます混むのではないかと心配している。

石神井8丁目付近

交通

- ・外環から出てくる車が石神井八丁目の一般道に入り、交通量が増えるのではないかと心配。

地上部

まちづくり

- ・環境施設帯など地上部がどのようになるのか心配している。生活道路の整備や植樹をするなど、環境施設帯を有効活用してほしい。

計画地内の道路

まちづくり

- ・地域に必要な生活道路を住民の意見を聞いて整備してほしい。ジャンクション南側部分で東西に分断される生活道路がきちんと整備されないのではないかと心配。
- ・自治会・町会が分断されたり、泉新小学校、大泉東小学校、三原台中学校の通学路が分断されたりしないように、環境施設帯に生活道路を整備するなどしてほしい。
- ・街が分断され商圏が小さくなってしまい、商売に影響が出るのではないかと心配している。

換気所

環境

- ・換気所から排出される窒素酸化物の影響が心配。
- ・換気所の性能についての詳細なデータを公開してほしい。
- ・換気所周辺の風害を減らすために、建物や煙突の角を丸くすべき。
- ・換気所ができるとぜんそくが悪化するのではないかと心配。換気所の数を増やして排気による影響を低くしてほしい。
- ・脱しよう装置をつけるなどにより、換気所からの窒素酸化物の排気をできるだけ減らしてほしい。

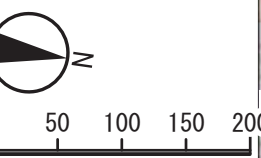
大泉ジャンクション

交通

- ・大泉インター入り口に関越のインターチェンジを設置して、周辺の利便性が高まることを期待している。
- ・外環を利用する大泉の住民の利便性が高まることを期待している。地域に愛されるジャンクションとしてほしい。

環境

- ・彩度を押さえるなど地域の風景になじんだすばらしい景観デザインとして欲しい。
- ・日常生活で外環の構造物が目に入る視点場からの景観については、特に配慮した景観デザインとして欲しい。
- ・グッドデザイン賞・土木学会デザイン賞・日本デザイン学会に載るくらいのレベルを目指したデザインを行い、地域のブランド・宝にしてほしい。
- ・普段の風景になじむような構造物の景観デザインとしてほしい。



■凡例

	特定のポイント		公園・緑地		地表面の路面(外環)
	ジャンクション地上部ゾーン		生産緑地		地表面のその他の施設
	ジャンクション地下部ゾーン		主な公共施設等		換気所
			河川		シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が4mより深い箇所)
			主な湧水		シールドトンネル部(全ての構造が4m以上の箇所)
			文化財・史跡		トンネル分合流部(深さ区分については注書き参照)
					外環の地上部の計画範囲
					外環の地下部の計画範囲(地上部より内側となる範囲を除く)
					地表面の路面(外環以外)
					現在の都市計画
					進行方向

Dグループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・外環が東名までつながり、大泉ジャンクション周辺の住民にとって便利になることを期待している。
- ・外環が大泉から東名までつながれば、大泉ジャンクションで降りていた交通が減り、地域渋滞が少なくなることを期待する。
- ・新ICは地域にとってデメリットしかないので、できるだけ影響を少なくするようにしてほしい。

環境

- ・大泉ジャンクションの整備により生活が便利になることは期待しているので、排気による影響を低減させてほしい。
- ・外環ができることで生活、大気、音などがどうなるか心配だ。
- ・自然環境への影響を懸念している。
- ・外環が整備されると住宅内にある緑が無くなるのが心配。

まちづくり

- ・長期的な視点で、この地域に安心して住み続けることができるように、十分な対策を行ってほしい。

安全

- ・ジャンクションができることで住宅地内への交通流入が増え安全性が低下することを懸念している。

工事中

- ・工事車両の通過時間を制限し、騒音による影響を少なくほしい。
- ・工事車両の通過時間を制限し、児童の登下校時の安全性を確保してほしい。

移転補償

- ・自分の家への影響を知りたいので詳細な計画線を公表してほしい。
- ・周りの建築動向を見ていると詳しい計画がすでに決まっても直接計画にかかる地権者には知らされていないのではないかと不安である。建物の一部だけを整備用地とするのではなく、現在の建物や生活道路をできるだけ残すような計画線とし、生活への影響をできるだけ少なくするようにしてほしい。

計画検討の進め方

- ・大泉ジャンクションの計画線を決めた根拠や理由を教えてください。

Eグループ [1/2] 場所を特定できる意見

■八の釜憩いの森

環境

- ・八の釜にある湧水を自然の状態でも保全して欲しい。
- ・びくに公園（遊水池）をつくる時、区は八の釜を残すために、びくに公園（遊水池）の方に水が逃げないように矢板を打って工事した経緯があるので、外環計画もそのようなことを尊重してほしい。

- ・八の釜憩いの森を保全するならば民有地部分は個人の負担にならない方が必要。
- ・八の釜の「ホテルやカワモスクなどの生態系」は練馬区内でも貴重な財産であり保全すべき。
- ・外環整備により八の釜の代償施設が整備されたとしても、それは人工のものではなく、地域の自然体系はくずれることになる。代償施設をつくれればよいということではなく、地域の自然体系に大きな影響を与えない計画にすべき。

- ・外環整備後に現在の八の釜の一部が残ったとしても、自然体系が崩れてしまうようでは、単に八の釜の歴史を伝える場所ではなくなる。それでは意味がない。地域の自然体系に大きな影響を与えない計画にしてほしい。
- ・湧水のことを議論するには、まず地下水脈（みずみち）の調査をし、状況を把握する事が不可欠である。そのことがまだなされていないので、きちんと調査してほしい。

- ・外環規模の整備をすれば、八の釜が残ったとしても、湧水は涸れてしまうのではないかと懸念している。
- ・八の釜の「空間としての水と緑のかたまり」は練馬区内でも貴重な財産であり、大気汚染軽減の一助にもなる。保全すべき。
- ・八の釜一帯の自然環境は、子どもが成長していく過程で遊びを通して環境学習できる貴重な場所であり、必要な場所である。保全すべき。

■大泉ジャンクション南側

環境

- ・この地域は北風が多いので、ジャンクション南側の地域へ今まで以上に排気ガスが流れて来るのではないかと心配だ。

■大泉ジャンクション

環境

- ・外環整備により大泉ジャンクション付近の交通量が増え、今以上に大気汚染や交通渋滞の悪化を引き起こすことが懸念される。

- ・大泉ジャンクション周辺地域では、日頃から洗濯物が汚れるほど大気汚染がひどい。屋外に干せない。外環道や換気所が整備されると、さらに大気汚染が進むのではないかと懸念される。これ以上の大気汚染の悪化＝健康被害の増大は避けたい。

■前原～大泉下屋敷～東映通り東～目白通り

交通

- ・ジャンクションができて交通渋滞は緩和はされず、抜け道となっている生活道路にさらに車が増えるのではないかと懸念されている。生活道路に通過交通が流入しないような対策を望んでいる。

■トンネル部

安全

- ・トンネル内で火災が発生したときの換気上の対応について説明してほしい。地下、地上とどのような状況になるのか不安。

■関越道

計画検討の進め方

- ・大泉北中学校近くの間越道の騒音（路面のタイヤ音）が大きくなったように感じられるため、調査してほしい。

■換気所北側の盆地

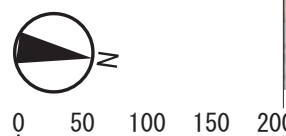
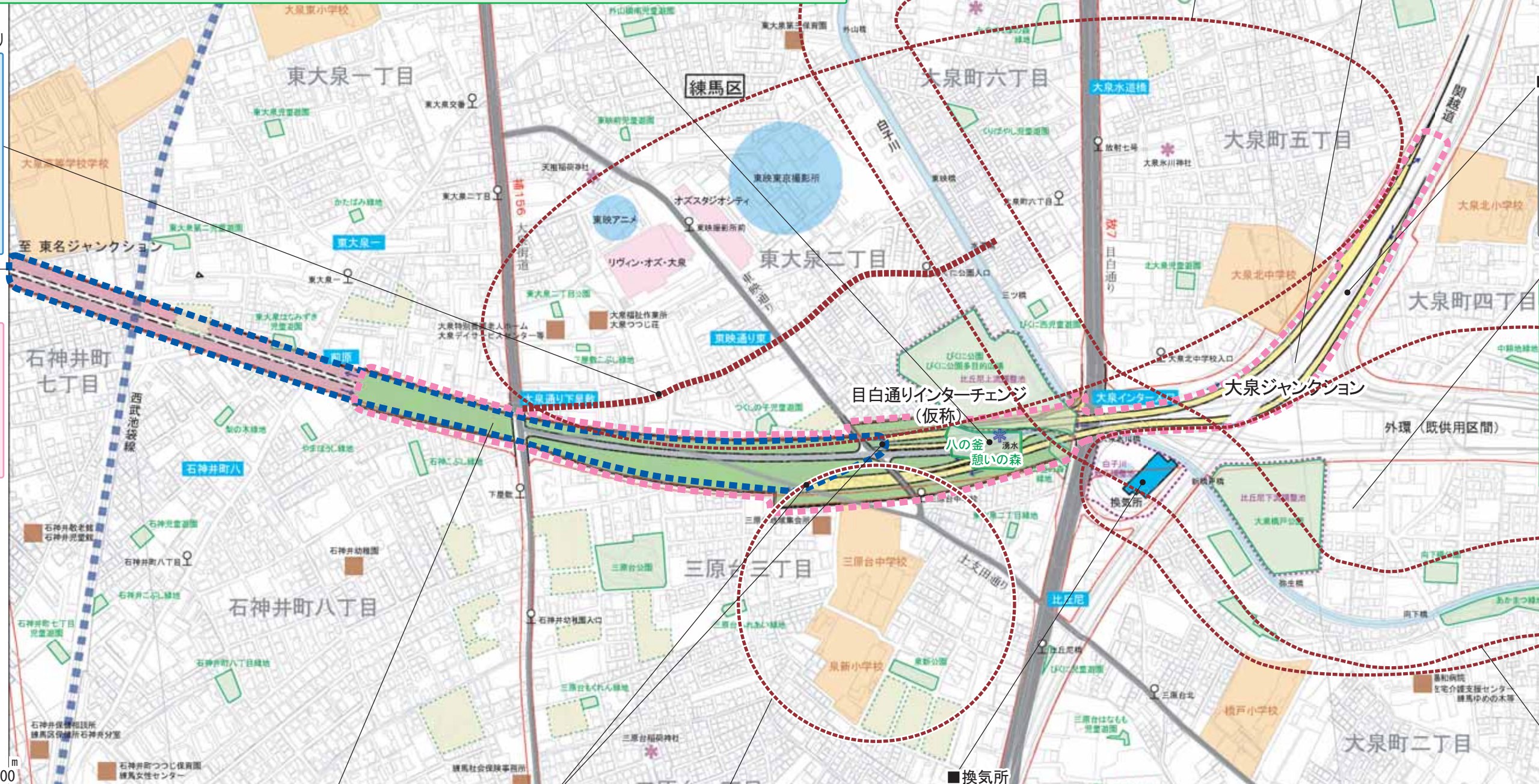
環境

- ・大泉ジャンクション北側は周囲に比べて低地になっており、日頃から空気がよどみ汚れていると感じている。外環道や換気所が整備されると、さらに空気が汚れるのではないかと懸念している。

■白子川両岸周辺

環境

- ・外環トンネルができると地下水脈が切れ、地下水の行き場がなくなるのではないかと懸念されている。またそれに伴い地盤沈下が始まるのではないかと不安だ。



■凡例

	特定のポイント		公園・緑地		トンネル坑口
	学校		生産緑地		換気所
	主な公共施設等		主要な湧水		外環の地上部の計画範囲
	トンネル地上部ゾーン		文化・史跡		外環の地下部の計画範囲(地上部より内側となる範囲を除く)
	トンネル地下部ゾーン		調整池		地表部の路面(外環以外)
	トンネル地上部ゾーン		調整池		現在の都市計画
	トンネル地下部ゾーン		調整池		進行方向

環境施設帯 まちづくり

- ・外環ができると地域のコミュニティが分断されることを懸念している。コミュニティが分断されないようにするために、環境施設帯にミニ集会所や公共施設をつくってほしい。

トンネル坑口 安全

- ・想定外の大規模地震が発生した場合、トンネル出入口部分が崩壊するのではないかと懸念している。トンネル出入口部分の強度と安全性に関する説明をしてほしい。

三原台中学校・泉新小学校周辺 環境

- ・掘り割り部分はすべて地上に出ているので、三原台中や泉新小への排気ガスによる影響が心配。
- ・料金所は車の停止、発進があるので付近の学校への排気ガスによる影響が心配している。

換気所 環境

- ・換気所の事故や故障時のリスクが心配。リスクを減らすことが必要。
- ・換気所の排気能力などについて知りたい。
- ・換気所のフィルターが詰まるのでは無いか心配。リスクを減らすため換気所は分散させてほしい。
- ・換気所から出る排気ガスは上空に吹き上げられて散らす計画だと聞いているが、換気所による生活環境や自然環境への影響が心配。

関越道 環境

- ・すでに関越道や外環もあるところに換気所をつくることによる健康への影響が懸念される。
- ・換気所をつくれれば大気や健康への影響などが懸念される。換気所の見直し（分散など）を考えたほうがいい。
- ・大泉ジャンクションの換気所により多くの排気ガスが集中することを懸念している。中央ジャンクションから大泉ジャンクションの約10km間の排気方法を中央環状線と同じ横流方式に変更し、1kmに1本程度の間隔で換気所を設けて排気ガスを分散してほしい。

白子川両岸周辺 環境

- ・外環トンネルができると地下水脈が切れ、地下水の行き場がなくなるのではないかと懸念されている。またそれに伴い地盤沈下が始まるのではないかと不安だ。

E グループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・外環利用者が増えることにより、周辺交通量が増え、今以上に大気汚染や交通渋滞の悪化を引き起こすことが懸念される。
- ・西武池袋線の連続立体交差事業に伴う周辺道路の整備内容によっては、外環予定地周辺に交通集中を招くのではないかと懸念される。

環境

- ・練馬区の大気汚染医療費助成認定患者数は23区中第2位であり、さらに既設外環道沿線に患者が多いという調査結果がある。外環道や換気所が整備されると、さらに大気汚染に起因する病気の患者が増加するのではないかと懸念している。
- ・地域に暮らす者として空気の汚れや大気汚染、大気汚染に起因する病気の患者増加を実感している。
- ・外環道や換気所の整備により、排気ガスによる大気汚染が悪化し周辺地域住民の健康被害の増大が懸念される。周辺地域への影響（主に大気汚染）を最小限に抑えるような計画にしてほしい。
- ・三原台にごみ焼却所の計画もあり、外環とあわせ、大気への影響が心配である。
- ・雨の日の自動車の走行音が心配。今も雨の日は関越道を走る車のタイヤの音で迷惑している。

安全

- ・生活道路が外環利用者の抜け道として利用されることで安全性の低下が懸念される。特に小学校、中学校が近隣にあるため不安だ。

工事中

- ・工事中の工事車両増加による交通渋滞や生活環境への影響が心配。工事による影響の予測や工事の計画が明らかにされておらず、このまま進められてしまうのではないかと心配である。
- ・工事車両が増えることで渋滞がひどくなり、今以上に抜け道化が進むのではないかと懸念がある。
- ・外環道整備と西武池袋線の連続立体交差事業の事業時期が重なると、工事車両の流入により、交通渋滞や生活環境への影響が大きくなるのが心配。工事中の工事車両による影響を十分に考慮した監理をお願いしたい。
- ・工事中の残土によるほこりが心配である。
- ・工事車両によって影響を受ける範囲を広く想定して対策を立ててほしい。
- ・地下の掘削工事が出た残土の搬出については、地域に対し配慮が必要。
- ・外環ができることにより便利になる人もいると思うが、地域で生活する側にとっては大気への影響や工事中の振動や地盤沈下など、生活環境や自然環境への影響が心配である。

移転補償

- ・計画にかかっている土地は売るに売れないし、将来計画が立てられない。とにかく早く進めてほしい。
- ・用地補償については、わかりやすくきちんと説明してほしい。

計画検討の進め方

- ・外環が整備されると大泉ジャンクション周辺の交通量が減少すると予測されているが、埼玉外環整備前後の調査結果をみると増加しており、予測の信憑性を懸念している。
- ・交通量の予測評価が現実と違っていることなどを考えると不安であり、調査・予測結果が正しく公表されているのかどうか不安。
- ・これほど湧水が豊富な地盤にトンネルを掘る訳だから、現状を知る意味で十分な地盤調査を行ってほしい。ボーリング調査はどの程度行っているのか知りたい。
- ・湧水や地盤への影響が心配である。地盤調査・湧水調査をしっかり行って欲しい。

Fグループ [1/2] 場所を特定できる意見

■八の釜憩いの森

環境

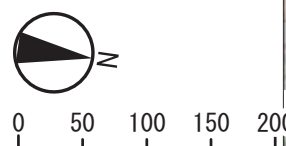
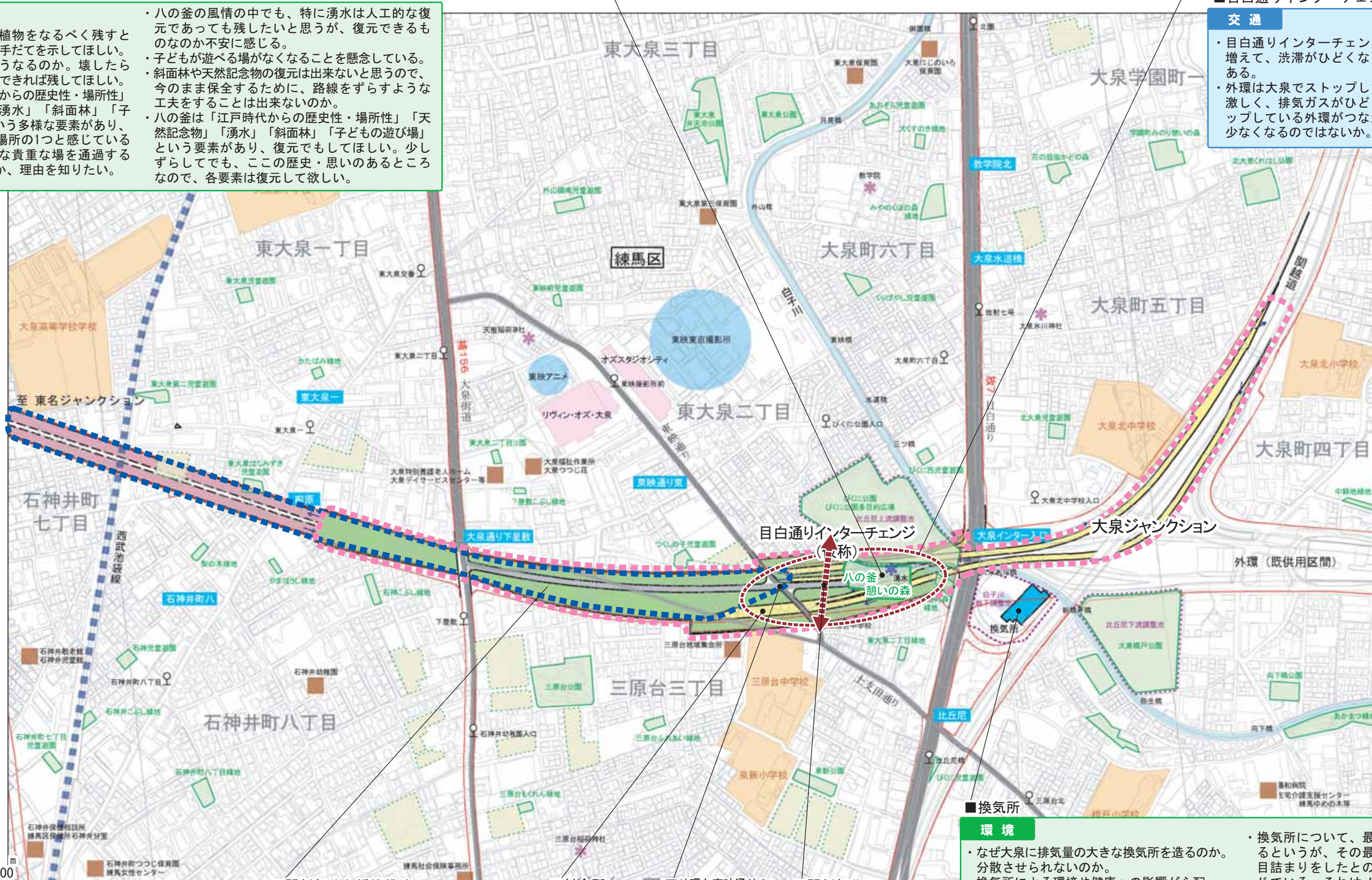
- ・八の釜の自然、動植物をなるべく残すという方向で、出来る手だてを示してほしい。
- ・八の釜の場所はどうか。壊したら元に戻らないので、できれば残してほしい。
- ・八の釜は「江戸時代からの歴史性・場所性」「天然記念物」「湧水」「斜面林」「子どもの遊び場」という多様な要素があり、区の中でも重要な場所の1つと感じているが、なぜこのような貴重な場を通過する計画線になったのか、理由を知りたい。

- ・八の釜の風情の中でも、特に湧水は人工的な復元であっても残したいと思うが、復元できるものなのか不安を感じる。
- ・子どもが遊べる場がなくなること懸念している。
- ・斜面林や天然記念物の復元は出来ないと思うので、今のまま保全するために、路線をずらすような工夫をすることは出来ないのか。
- ・八の釜は「江戸時代からの歴史性・場所性」「天然記念物」「湧水」「斜面林」「子どもの遊び場」という要素があり、復元でもしてほしい。少しずらしてでも、ここの歴史・思いのあるところなので、各要素は復元して欲しい。

■目白通りインターチェンジ周辺

交通

- ・目白通りインターチェンジを降りる車がさらに増えて、渋滞がひどくなるのではないかと懸念がある。
- ・外環は大泉でストップしているので交通渋滞が激しく、排気ガスがひどく感じる。大泉でストップしている外環が繋がれば、周辺の渋滞は少なくなるのではないかと。



■凡例

	特定のポイント		公園・緑地		学校		地表面の路面(外環)
	ジャンクション地上部ゾーン		生産緑地		主な公共施設等		地表面のその他の施設
	ジャンクション地下部ゾーン		主な道路		都市計画道路		換気所
			河川		調整池		シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が4mより深い箇所)
			調整池		調整池		シールドトンネル部(全ての構造が4m以内になる箇所)
			主な湧水		調整池		トンネル分合流部(深さ区分については注書き参照)
			文化財・史跡		調整池		外環の地上部の計画範囲
					調整池		外環の地下部の計画範囲(地上部より内側となる範囲を除く)
					調整池		地表面の路面(外環以外)
					調整池		現在の都市計画
					調整池		進行方向

■開削部分と緩衝緑地

- まちづくり**
- ・緑地（地上の部分）の使いみちが伝わってこない。子どもの遊び場に開放できないかと思うが、可能性はあるのか、条件や想定があれば教えて欲しい。

- 計画検討の進め方**
- ・緩衝緑地や歩道の配置なども生活圏に影響があるので、実際に利用する地域で使い勝手を考え、提案できる機会を設けて欲しい。

■料金所台一丁

- 環境**
- ・料金所が出来ることにより、ストップ・スタートで排気ガスが増えるのではないかと不安である。

■外環と東映通りの交差点周辺

- まちづくり**
- ・東映通りは、買い物や通学のための主要生活道である。外環によって東映通りが寸断されてしまっているのではないかと心配している。

■開削部分

- まちづくり**
- ・八の釜の辺りは通学路にもなっており、行き来があるが、外環により地域が分断され行き来がしづらくなるのではないかと心配がある。東西の行き来をどのように担保していく予定か、考えを示してほしい。

■換気所

環境

- ・なぜ大泉に排気量の大きな換気所を造るのか。分散させられないのか。
- ・換気所による環境や健康への影響が心配。
- ・換気所の高さの検討にあたっては、美観対策もあるかと思うが、景観への配慮よりも、くぼ地にある地域としては、悪い空気がたまることによる人命への影響が心配である。美観対策により安全対策が制限されるようなことが無いか、不安に感じている。
- ・トンネルの途中途中で換気所を設けるのではなく、地上にあがる部分にのみ換気所を設けるのでは、トンネルの中間地点あたりは特に排気ガスが溜まり、車に乗っている人にも影響があるのではないかと、不安に感じる。

- ・換気所について、最新の機能が装備されるというが、その最新の換気所が半年で目詰まりをしたとの話を聞き、不安に感じている。それはメンテナンスが悪かったからなのか、機能が良すぎてたくさん吸えてしまったからなのか、予想よりも排気ガスが多かったのか、理由で大泉ではどのように対策予定かを教えて欲しい。
- ・換気所から出てくる排気ガスの量等の平均値予測を示されても、位置によって変わるのではないかと、近くに住んでいる者としては不安に思う。換気所に近い位置での数値なのか、ある程度はなれた地点での数値なのか、各町会区分毎で出してもらおう等すると不安が解消されると思う。



F グループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

環境

- ・排気ガスによる健康への影響が心配。
- ・インターチェンジが出来ることにより、喘息やがん患者が増える等の風評があり、不安なので、近辺の小学校の小学生の喘息、地区内がん患者のデータを他地区と比較したり、今の関越建設前後での変化の状況等を教えて欲しい。
- ・人体に影響の無いレベルをクリアしていると言われても、そのレベルが、近年変わってきたり、国によって考え方が違うという話をきく。他国の値であっても、先進的な値、厳しい値をクリアできるようにして欲しい。
- ・ガン等の患者数とインターチェンジの有無等、インターチェンジの排気ガスと病気の間連を調べた調査結果があれば示して欲しい。排気ガスのデータを見ても、人体に影響の無い値の根拠も分からず疑問に思う。
- ・換気所について、最新の機能が装備されるといっても理解しにくいので、実際に動いている他の事例を皆で見に行き行って体感できると多少安心できるかもしれない。
- ・住民が大泉ジャンクション出来る前から現在までとりためてきたデータがあり、変化を記録している。国でもそういった経年変化のデータがあるのであれば示し、今後の影響予測を示して欲しい。
- ・外環完成後の環境への影響を把握し、速やかな対応が出来るよう、今から定点観測を初めて欲しい。風の状況・風速・風向き・天気・各時期ごとの大気の状態等のデータを収集して欲しいがそのような事はしているのか、またする予定はあるのか教えて欲しい。
- ・大泉は高低差がある。大気への影響の予測の値は平らな地域での一般的な数値をとっているのではないか、地域の実情とそぐわないのではないかと不安に思う。現地地形や風向き等を加味したデータを出して欲しい。出している場合は、どの程度地域の状況を加味したものであるか説明をして欲しい。

工事中

- ・工事中に工事車両が近隣の道路に渋滞や生活環境に影響を引き起すのではないかと心配。
- ・工事中の車両が増えると、渋滞や騒音が多くなるのではないかと不安であるので、交通量や大型車による事故・振動などに配慮してもらおうとともに、早い段階で配慮する旨を地域に説明して欲しい。
- ・外環建設にあたって、各区分でどれ位の期間工事をする事になるのか、生活にどの程度影響があるのかを教えてください。

移転補償

- ・事業化される前に、外環予定地の地権者に十分な説明会を開いてほしい。

計画検討の進め方

- ・外環により地域全体の交通量がどう変わるのか、車の動きについて、広域の交通網の中で予測したデータを示してほしい。
- ・交通量のデータは、増える分、減る分両方あり、判断が難しいので、交通が便利になることにより、まちづくりや開発がどのように進み、生活がどのように変わるかも像を示してもらい、その影響を加味した交通量を算出してほしい。